



☆☆☆FUKUOKA no MUGI☆☆☆Vol.2 2017.02.10.

日本一の麦をつくろう！>>全農ふくれん発>>

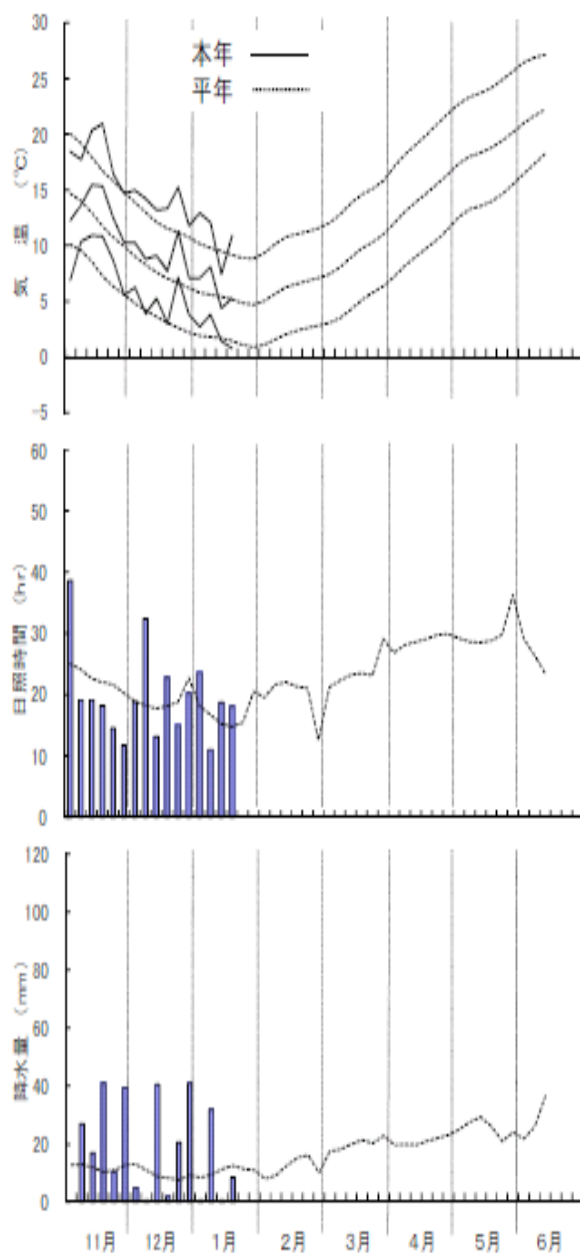
全国農業協同組合連合会福岡県本部
(担当：農産部農産課)
電話：092-762-4713

1. 平成29年産麦の生育状況について

平成29年1月31日、福岡県より「福岡県米麦大豆生産改善速報第6号」(平成29年1月23日付)が発表されました。あわせて、福岡県農林業総合試験場HPに「福岡県米麦大豆生育情報(平成29年1月23日付)」が掲載されています。

【抜粋】11月19日～1月18日の平均気温は平年より1.4℃高く、降水量は83%多く、高温多雨で経過しました。

1月19日現在の生育は、小麦では、草丈は平年より10～48%高く、茎数は農産部で平年より6～18%多く、筑後分場では平年より13～19%少なくなっています。大麦では、草丈は平年より9～22%高く、茎数は平年より約30%多い状況です。また、主稈葉数は、小麦では平年並み～1.3葉多く、大麦では0.9～1.0葉多く、11月下旬播きの生育は平年より進んでいます。生育が早いため、11月播きのものはこれ以上麦踏み・土入れができない時期になってきています。麦の状態を見ながら、中間管理を行うよう、指導していきます。



詳細は福岡県農業総合試験場HPで↓↓

<http://farc.pref.fukuoka.jp/organization/nosan/index.html>

◆シロガネコムギ（福岡大城、1月25日撮影）



◆チクゴイズミ（にじ、1月25日撮影）



◆ニシホナミ（筑前あさくら、2月7日撮影）



◆ミナミノカオリ（柳川、1月20日撮影）



◆ちくしW2号 (ふくおか八女、1月23日撮影)



◆ニシノホシ (福岡京築、1月20日撮影)



◆はるか二条 (北九、1月25日撮影)



◆はるしずく (みなみ筑後、1月19日撮影)



◆ほうしゅん (糸島、2月3日撮影)



◆しゅんれい (むなかた、1月26日撮影)



◆はるみやび (みい、1月19日撮影)



◆イチパンボシ (筑紫、1月18日撮影)



2. 平成28年度民間流通麦意見交換会

J A全農ふくれんと福岡県主要食糧集荷商業協同組合は、平成28年12月16日（金）、「平成28年度民間流通麦意見交換会」を開催しました。実需者や生産者・J A・行政らが参加し、大麦・裸麦の部には33名、小麦の部には42名が出席しました。

実需者と生産者団体とが、29年産以降の県産麦の生産及び販売について意見を交わすもの。夏場に開催する民間流通地方連絡協議会では、実需者の要望が当該年産に反映しづらいため、一昨年度より、産地が生産計画を立てる前の冬場に開催されています。一昨年度同様、福岡が全国に先駆けての開催となりました。

冒頭、農林水産省 政策統括官付 貿易業務課 久野係長より、「今回で3回目の開催となるが、実需者・生産者双方からの活発な意見を上げて頂き、有意義なものにしましょう」との挨拶がありました。

福岡県産麦の収量向上に向けた取り組みについては、J A筑紫・筑前あさくら・みなみ筑後・直轄の4 J Aを代表例として挙げ、優良生産者が麦踏み・土入れなどの管理作業をしっかりやることにより、収量向上につながっていることを示し、そのデータを基に意見交換を行いました。実需者からの意見として、大麦・裸麦の部、小麦の部共に、「優良生産者分析の取り組みを広げて生産計画を確実に達成してもらいたい」という声が多く聞かれました。産地からは、J A全農ふくれん麦部会や各J Aの部会等で、「日本一の麦を作ろう」をスローガンに、高品質・安定供給を目指した取り組みを継続していくことを約束しました。

また、需要のある品種への作付転換が話題に上り、今後実需者及びJ Aを個別巡回しながら、慎重に検討を進めていくこととなりました。

【主な内容】

- ◆麦類情勢について J A全農 麦類課
- ◆平成29年産麦類の播種状況について
福岡県 経営技術支援課 田中専門技術指導員
- ◆平成28年産麦の単収の検証について
J A全農ふくれん農産課
福岡県主要食糧集荷商業協同組合
- ◆福岡県産麦の中長期生産計画（案）について
- ◆福岡県産麦収量向上に向けた取り組みについて
J A全農ふくれん農産課



↑ 福岡県精麦組合 倉富専務挨拶の様子。



↑ 石井部会長挨拶の様子。



↑ 意見交換の様子。 ↓



3. JA全農ふくれん麦部会「中間管理研修会」

JA全農ふくれん麦部会（部会長：石井好人 JAにじ）は、平成29年1月18日（水）、今後の中間管理作業の徹底と品質向上対策についての確認を行う「中間管理研修会」を開催し、生産者やJAら41名が参加しました。

意見交換会では、JA直轄遠藤部会長より、「トゲミノキツネノボタン」の蔓延対策として、バサグランの散布を始め、2月上旬から雑草対策として石灰窒素の散布を検討しているなどの新たな取り組みについての報告がありました。

また、昨年の12月に開催された民間流通麦意見交換会で報告させていただいた優良生産者分析の取り組み内容についてや、事前に「各JAの部会研修会の参加人数や参加率」について報告してもらった内容を基に、各JA部会長から部会欠席者へのアプローチ方法を上げて頂き、底上げを図るための今後の対応について活発な意見交換が行われました。

具体的な意見として、

- ① 生産モデルケースの資料を作成して収量と利益の関係を示す。
- ② 優良生産者のほ場に看板を立て、いつでも見える化をする。

が挙げられ、とても有意義な研修会となりました。

【主な内容】

◆民間流通麦意見交換会について

JA全農ふくれん農産課

◆29年産麦の生育状況について

JA全農ふくれん営農部

上席技術主管 濱地 勇次 氏

◆意見交換会の内容を踏まえた今後の対応について



↑ 石井部会長挨拶の様子。



↑ 意見交換会の様子。↓



4. JAみづま「麦類中間管理研修会」

JAみづま担い手連絡会（役員：富松隆晴）は、平成29年1月25日（水）、高品質麦の生産の平準化並びに実需者が求める商品性の高い麦作りを進めるため、今後の中間管理作業の徹底と品質向上対策についての確認を行う「中間管理研修会」を開催し、生産者やJA、行政ら約70名が参加しました。

冒頭の挨拶で富松役員は、「29年産では昨年よりも品質を向上させることはもちろん、特に裸麦に力を入れ取り組んでいく」と宣言しました。

研修会内では、久留米普及指導センターより今後の管理について講演が行われ、雨に負けないほ場づくりをするために畦溝と枕地の溝をつなげ、収量がUPさせようとの指導が行われました。

【主な内容】

◆麦類情勢について JA全農ふくれん 農産課

◆麦の中間管理について

久留米普及指導センター

5. JA福岡大城麦出荷者部会「中間管理研修会」

JA福岡大城麦出荷者部会（部会長：田中紀光）は、平成29年1月25日（水）、麦の品質に大きく影響する今後の中間管理作業についての確認や指導を行う「中間管理研修会」を開催し、生産者やJA、行政ら約150名が参加しました。

冒頭のあいさつで江頭副部会長は、「近年の播種時期での多雨など厳しい状況だが、天候に負けることなく、29年産でもしっかりと高品質の麦作りに励んでいく」と宣言しました。

中間管理に関しては、南筑後・久留米普及指導センターより講演が行われ、排水対策、麦踏み、土入れ、雑草対策等、基本かつ重要な技術を励行するよう、指導が行われました。

全農ふくれん職員からの麦類情勢説明に対しては、ちくしW2号の作付面積についての質問や、作柄解析について要望が挙がるなど、活発な意見が述べられ、懸命に取り組もうとする生産者の姿が見られました。

【主な内容】

◆麦類情勢について JA全農ふくれん 農産課

◆今後の麦の管理について

南筑後・久留米普及指導センター

~~~~~

## 6. JA筑紫麦出荷者部会「中間管理研修会」

JA筑紫麦出荷者部会（部会長：鬼木正巳）は、平成29年1月25日（水）、高品質麦の生産の平準化並びに実需者が求める商品性の高い麦作りを進めるため、今後の中間管理作業の徹底と品質向上対策についての確認を行う「中間管理研修会」を開催し、生産者やJA、行政ら約50名が参加しました。

冒頭の挨拶で鬼木部会長は、「筑紫管内でも生産者間の格差が大きく、部会全体の底上げが重要である。また、JA間でも格差があるので、解消を目指す」と宣言しました。

講習会内では、福岡普及指導センターより麦の中間管理についての講演が行われ、早播きの小麦は節間伸長開始時期が平年より早まるため、麦の生育を確認して麦踏みを行うように、との指導がなされました。

### 【主な内容】

◆麦類情勢について JA全農ふくれん 農産課

## ◆1等Aランク獲得及び契約数量達成に向けて 福岡普及指導センター

### ☆☆☆あとがき☆☆☆

去年は、福岡県産麦をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございました。

今年の29年産麦こそ契約数量の必達に向けて各種取り組みを行って参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

JA全農ふくれん 農産課一同



全国農業協同組合連合会 福岡県本部

☆FUKUOKA no MUGI 編集局☆

YASUNAGA HIROFUMI

YAMASHITA NORIKO

NAKANO YUUTA

NISHIHARA YOSHIHIRO

NAKASHIMA YUUSUKE



HPにも掲載！

JA全農ふくれん

検索

